

震災前後の医療費の変化 (協会けんぽ福島支部データから) - 3報 -

○早川岳人1)、各務竹康1)、蛭田悠平2)、熊谷智広1)、畑淳子2)、辻雅善1)、日高友郎1)、福島哲仁1)

1)福島県立医科大学衛生学・予防医学講座
2)全国健康保険協会福島支部

目的

東日本大震災において、福島県を始めとした東北地方の住民の生活環境は変化した。住民の健康被害について、震災前後で医療費を比較し、大震災の影響を検討した。

方法

1人当たり医療費

対象者：

平成22年度と平成24年度の協会けんぽ福島支部 平均加入者615,834人

検証項目：

- 性（全体・男性・女性）
- 年齢階級
0歳から10歳階級ごとに分類
- 診療種別
全医療費、入院、入院外、歯科、調剤
- 疾病別（8分類）
悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、腎不全、高血圧、糖尿病、気分障害・ストレス障害、認知症
- 二次医療圏（7地域）
県北、県中、県南、会津、南会津、相双、いわき
被保険者の住居地をもとに分類
- 平成24年度の当支部平均加入者総数を基準として間接法による標準化を行い、地域毎の1人当たりの医療費を比率で表した。カテゴリは5段階に分けた。

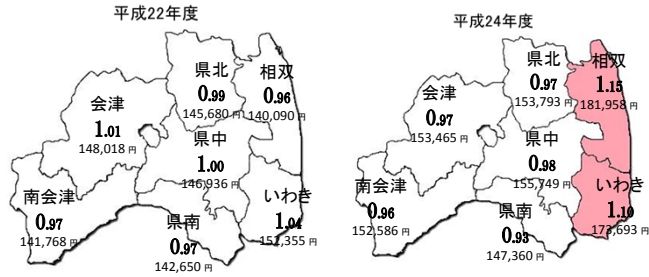
~0.7未満
0.7以上~0.9未満
0.9以上~1.1未満
1.1以上~1.3未満
1.3以上~

考察

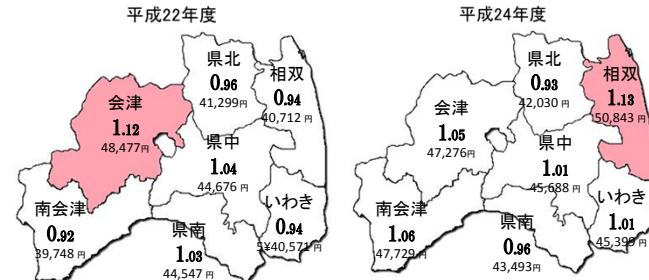
- 疾患別では、脳血管疾患が相双地域で、0.9~1.1倍にあがっていた。
- 震災直後の津波や原発等の直接の被害を受けた相双地域、いわき地域において、震災後の医療費が上昇していた。
- 被災地住民の健康被害が大きいことが考えられる。
- 今後とも、経年的に比較を行い、地域の実情に応じた福島支部のデータヘルス計画策定とその実践に活かしていきたい。

結果

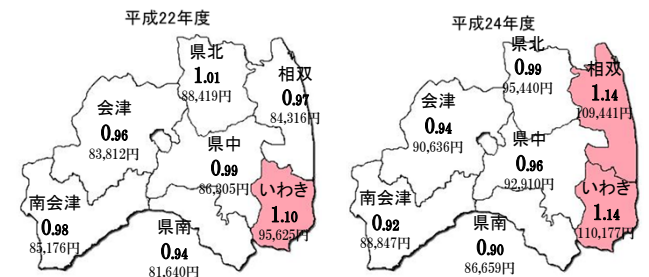
1. 1人当たり医療費(全医療費)



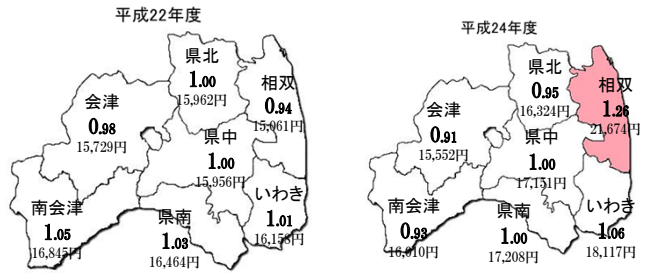
2. 1人当たり医療費(入院医療費)



3. 1人当たりの医療費(入院外医療費)



4. 1人当たりの医療費(歯科医療費)



5. 1人当たりの医療費(調剤医療費)

